

令和3年度 通級指導教室経営方針

通級指導教室担当

1 目標

障害による学習上・生活上の困難さを減らすための手立てを知るとともに、自分で援助要求できる児童を育てる。

2 方針

- 学びやすい環境づくり (学習に応じて教室を区分し、整然とした環境をつくる。)
- 個々の特性に応じた指導の工夫 (通級で学んだことが実生活で活用できるよう指導する。)
- 担任・保護者・関連機関との連携 (つきたい力を共通理解し、各方面から支援する。)
- 専門性の向上 (専門性を身に付け、児童の実態把握や指導技術の向上に努める。)

3 指導内容

- 社会性の発達に課題が見られる児童，対人関係が難しい児童，基本的な生活習慣が確立しにくい児童などの異なる状態に応じて目標を定め，児童の興味関心領域を中心とした自立活動を行う。
 - ・ 基本的な生活習慣の育成・・・生活リズム・活動のパターンを身に付ける。
 - ・ 対人関係の育成と拡大・・・遊び等を通して人とかかわる楽しさを味わう。
 - ・ 生活経験の拡大と促進・・・個々の認知特性から活動しやすくなる方法を見つける。
様々な活動を体験する機会を作り，興味関心の幅を広げる。
 - ・ 社会的な技能の育成・・・ルールや決まりを守り，折り合いをつけながら活動する。
 - ・ 認知能力の向上・・・課題学習や遊びを通して見る力・聞く力を高める。
 - ・ 体力の増強と運動能力の向上・・・体全体を使う運動・手先の巧緻性を高めるトレーニング等を通して
いろいろな運動の力を身に付ける。
 - ・ 言語発達の促進・・・楽しくやりとりする場面を作り，理解や表現の力を高める。
 - ・ 情緒的な安定と対人関係の改善・・・個々の特性に応じた心の緊張や不安軽減の方法を知る。
- 保護者と連携し，将来像を見据えながら課題を共有し，児童の行動の捉え方やより良い関わり方等について話し合う。

4 指導形態

- 個別指導，小グループ指導

5 年間計画

月	校 内	保 護 者
4	○校内研修 (ユニバーサルデザイン・通級・交流及び共同学習・個別の支援計画・指導計画について) ○担任・保護者・関連機関との連携 ○教室環境づくり ○時間割決定 ○通信・名簿作成 ○家庭訪問 ○今年度の通級・教育相談開始 ○通常学級内での実態観察	○個別の教育相談 (家庭訪問)
5・6	○担任者会 (通級についてのオリエンテーション・情報交換) ◎巡回相談	○個別の教育相談 (個人懇談)
7	○1学期分指導記録 ○担任者会 ○巡回相談	○個別の教育相談 (個人懇談)
9・10・11	○巡回相談	○個別の教育相談 (個人懇談)
12	○2学期分指導記録 ○担任者会	○個別の教育相談 (個人懇談)
1	○新1年生保護者説明会 (一日入学)	○個別の教育相談 (個人懇談)
2	○巡回相談	○個別の教育相談 (個人懇談)
3	○3学期分指導記録 ○担任者会 ○要録記入 ○引継ぎ	○個別の教育相談 (個人懇談)